

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 1日

事業所名 スポーツとまなびのひろばSAIYO池田校

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	日頃より整理整頓を心掛けている	児童の安全を第一にスペースの確保に努める
	2 職員の配置数は適切である	3	0	不足しないように常に求人を募集している	運営規定に定められた人員配置で運営する
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	0		事業所内はバリアフリーになっている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	0	ミーティングにて取り組んでいる	日・週・月によって目標と振り返りがしっかりと行われるようチェックしていく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2		アンケートを活用し、理解不足や説明不足な点、足りないもの業務改善を行っていく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	ホームページ上で公表している	ホームページ上に公開する
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		必要に応じて第三者に運営状況を提示し意見を聞く機会を設ける
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	大学の研修の参加、研修受講を促している	月に一度の勉強会を継続し、外部研修の参加に努める
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0	アセスメントシートを活用している	アセスメントシートを活用し、保護者と子どものニーズに合った支援計画を作成する
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		保護者から提供していただき、子どもの状況の把握に努めている
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	毎日ミーティングを行い決めている	活動プログラムの内容を職員間で確認しながら決定している
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	ミーティングで工夫でできるよう話し合っている	ミーティングでの振り返りを反映した活動プログラムの立案していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0		それぞれにおいて明確な課題を設定している
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3	0		集団に重きをおいているが、個別と集団活動それぞれの観点から必要な支援を提供していく
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		継続してミーティングで行っていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	1		活動の内容や今日の振り返りを毎日行う。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	活動記録を作成している	継続して今日の活動、取り組み方、友達との関わりなど細かく記載していく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2	1		3ヶ月に一度モニタリングを実施し支援計画に反映させるようにする
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	0	ガイドラインに沿った運営をしている	ガイドラインの読み込み、支援を行うようにしていく

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0	3	参加している	担当者会議の招集があればぜひ参加したい
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	2	関係機関と電話連絡によって調整している	保護者と学校、保護者と事業所の関係の中でトラブルがないように書面と電話、メールでのやり取りをしていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3			受け入れがないが、主治医に相談し指示を仰げる体制を築いている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	3		児童発達支援事業所とは連絡を行うが、幼稚園や保育園とは十分でないと感じるため、必要であれば行っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3		まだ卒業したものがいないため未実施だが、情報共有できる関係を構築していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1		相談員の方に施設見学をしていただくなど、実際の現場を見てもらう働きかけを実施していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		学校の通学していたり、児童クラブに通っている子ども達が大半なため必要は感じないが、要望があれば機会を作っていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1		協議会には必ず参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	連絡帳・送迎時・面談の機会を作っている	連絡帳のやり取りで不十分な場合は電話連絡、また発表会(参観)を年に2回は行う
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	0		職員がペアトレ研修に参加し保護者に支援している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0	契約時に書面にて確認	契約時に丁寧に説明させていただく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	1		適時相談を受け、助言と支援を行う
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1		保護者会に近い形で保護者が交流できる場を提供していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0		苦情や要望に対しては真摯に向き合い、事業所職員で迅速に対応できるようにしていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	月に一度通信を発行している	ブログやフェイスブックを活用し活動の様子が分かるようにしている、また保護者に認知してもらうよう発信していく
	35	個人情報に十分注意している	3	0		プライバシーの保護の重要性をスタッフ間で共有し、保護者からの許可を取るようにしていく
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		客観的に情報を伝えるようにし、保護者へ情報を開示しまた円滑なコミュニケーションが取れるようにしていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2		事業所主催の行事実施予定はないが、地域の活動には積極的に参加していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2		毎年必要なマニュアルに対しては保護者に配布し周知していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2		年間行事予定を配布し、年に数回の防災訓練を実施する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		虐待防止の研修に参加し、スタッフが周知できるよう共有していく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0		子ども達の身体の危険やけがなどのリスクを回避する目的で一時的に身体拘束する旨を書面で保護者に説明しご理解をいただく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	0		保護者から情報を収集しアレルギーの有無や食品については提供しないようにする
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0		細かなことでもヒヤリハットを作成し、未然に防ぐようにしていく